

勝林寺寺報

親に似た顔

八十六歳のおばあちゃんが、ふと思いついて、自画像—自分の顔を絵—に描いてみたのだそうです。

老いてしまった目鼻立ちが情けなかったが、「でも、忠実にうつしたつもり」

さて かざしてみても おどろいた
そこには
なつかしい 晩年の母の顔が
あった。

今朝の新聞で、この詩を読んだとき、飛び上がるほどびっくりしました。
あたかも昨日、わたしの母の三十回の祥月命日、お仏壇の前でわたしが思ったことと、まあ、本当に、同じことだと、それでびっくりしたのです。

親と別れて三〇年立って、自分が母と同じ歳になったとき、母と同じ姿・顔立ちになっていた。

なんと勿体ないことかと思いました。
死んでから三〇年。母は、このわたしを願って生きてくれて、いまようやく、自分のいのちのなかに、わたしを吸い取ってくれたその証拠がこれなんだと思いました。

それに、自分の顔かたちに仕立て上げて上げてくれる人は、何十億何千億と人のあるうち、たったわたしの親ひとりということとは、なんとした不思議で勿体ないことかと思いました。

ほとけさまは、わたしをすくうのに、

おしの根性たまたまおして、それですくうのではなしに、根性はそのままにおいておいて、姿かおだちを、おやおんなじに、仕立て上げしつらえあげて、お救いくださると聞いたことがありました。

それには、長い長い間の、親の無言の願力念力があつたのでしょうか。

わたしの場合は、三〇年。
親に似たように思います。
親に似たように思っています。
こんなに年老いてから、現にわたしに親があつてくださって、もったいないことと、思わせていただきました。

(親不幸だった老いた娘)

兵庫教区仏婦連盟

幹事部研修会

田中 加代子

仏婦会長 田中加代子

去る五月十四日、出石組の会長吉谷さまと、「兵庫教区仏婦連盟幹事部研修会」に出席させていただきました。

会場の神戸別院は、昨年十月、完成したばかりで、『勝林寺寺報』で、その写真は見てはいましたが、いま実際に目の前に見ますと、聞きしにまして立派でありました。周囲はまだ震災復興工事進行中の雑然としているなかに、この教化センターだけが際立って立っていました。内部の荘厳施設もすばらしく、地元神戸の人達からモダン寺と呼ばれるにふさわしい構えでありました。

参会者は約八〇名。午前中は教区仏婦連盟委員総会。やや事務的な感じでしたが、午後からは厳かな開会式に続いて、「私のイノベーション」と題した前仏婦連盟講師岩田アサオ先生の講演がありました。

平成十年にご遠慮をお迎えする蓮如上人は、イノベーター(変革)上人とおよびします。その上人のご業績に学び、今やわたしたち一人一人が変革しなければなりません。

今の日本の精神風土は、まさに砂漠であります。教育機関や制度は発達しましたが、ほんとう

に「こころ」を育ててきたでしょうか。それぞれの家庭においても、正しい宗教教育がなされないなかで、こころ豊かな人間を育てることが失われています。外国の人から、日本の家庭は「子供が王様、親は家来」だと揶揄されています。

学校や家庭で「競争ロボット」として育てられた日本の子どもたちは、人に勝つこと優先で、自分のいのち、人の命を粗末にあつかってしまっているのです。

家庭・社会の母親、子や孫の育ての母親としてのわたしたちは、いまこそわたし自身を問うておさなければなりません。イノベーションしなければなりません。

そのために、わたしの拠るべき本當の宗教に目を凝らしてみよう。(世の中には偽の宗教—迷信邪信や、仮りの宗教があります)お念佛に問うてみましょう。

お念佛のお慈悲に包まれ、わたしがびっくりかえられたら、わたしをとりまく世界も、輝いた世界にふりかえられます。幸福は誰から与えてもらうものではなく、自分を幸福に変えることによって開かれるものです。

お念佛の中だけで、わたしたちは、恵まれたわたしにであえます。
お念佛のなかで出会ったしあわせなわたしを立て、そこからもう一度、わたしと社会を見直しましょう。わたしのイノベーションはそこから始まります。

間に讃歌指導を挟んでの約二時間のお話は、わたしにとってこのほか身に滲みましました。

ほとけさまのお慈悲の中で、大勢の人々とお会いさせていただき、語り合えたこと、ほんとうにありがたい一日でありました。ひたすら頭法につとめたいところからおもわせていただきました。

五月二十九日 儀

山口嶋 幸子子 様

(前勝林寺仏婦会長)

六月のこよみ

一日 島根瑞泉寺法事
二日 同
三日 出石組仏婦連盟総会(四等)

四日 眼科検診
五日 町民検診
六日 福成寺継職奉告法要

七日 福成寺蓮如上人遠忌法要
八日 玉日会定例法座
九日 竜大同窓会
十日 同

十一日 石坪好延氏宅法事
十二日 本覚寺永代経
十三日 玉井克弥氏宅法事
十四日 山田忠雄氏宅法事
十五日 本覚寺永代経
十六日 仏婦連盟但馬ブロック研修会

十七日 福成寺永代経
十八日 福成寺永代経
十九日 西方寺永代経(二三日)

二十日 研修(納骨)旅行
二十一日 研修(納骨)旅行
二十二日 兵庫教区「連研」のための研究会
(みのりを聞く会は休み)

二十三日 真覚寺永代経
二十四日 真覚寺永代経
二十五日 正福寺永代経
二十六日 正福寺永代経
二十七日 横山豊氏宅法事

二十八日 真覚寺永代経
二十九日 真覚寺永代経
三十日 正福寺永代経
三十一日 横山豊氏宅法事

研修会

六月十九日(水)

出石 勝林寺

講師 久堀 弘義 先生

お話しを聞き通しご案内いたします。

一人でも多く研修にご参加ください。
(仏婦会長 岩上加代子)

